



ジュニア農芸化学会2026に参加しました！

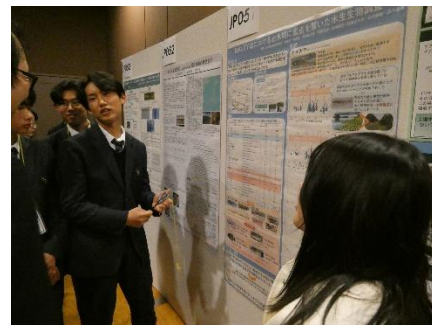
3月12日(木)、同志社大学室町キャンパス寒梅館で「ジュニア農芸化学会2026」が開催され、本校から環境科学科2年生の魚班5名と理学部1・2年生9名が参加しました。「農芸化学」とは、動物・植物・微生物の生命現象、生物が作る物質、食品と健康などを、主に化学的な考え方にもとづいて基礎から応用まで広く研究する分野です。今回の学会では、高校生の発表だけで128テーマありました。ポスター発表を通じて全国の高校生と研究活動について交流したり、大学教員や企業などの方と質疑応答をしたりすることができました。本校から発表したタイトルは以下のとおりです。

環境科学科2年生「廃棄される魚の部位を利用した土壌改良」

理学部2年生「紀ノ川下流における止水域に重点を置いた水生生物調査」

理学部1年生「調査からわかる紀ノ川の魚類の多様性」

来年度は愛知県名古屋市の名城大学で開催される予定です。また案内しますので、ぜひ参加してください。



1年生



SSH先端科学講座（データサイエンス）

3月13日(金)、1年生を対象に「SSH先端科学講座（データサイエンス）」を実施しました。和歌山大学システム工学部の吉野孝教授にご来校いただき、「データサイエンスの必要性」と題してご講演いただきました。ニュース等で示されるさまざまなデータにふくまれるバイアスについて学ぶことができました。今回の学びを今後の探究活動に活かしてほしいと思います。以下、生徒の感想です。

- 数値だけでなく、その結果は本当に知りたいことの証明になっているのかを確かめることもデータサイエンスだと知ることができました。
- 大学の講義がどのようなものなのかを体感することができました。システム工学部でどのようなことを学んだり、研究したりしているのかまったく知らなかったので、この機会に少しでも知ることができてよかったです。
- 今後研究したりするときにはちゃんとしたデータを得られるように、今回の講義を思い出しながら研究したいと思います。
- データサイエンスにとっても興味が湧いた。最近学んだ正規分布がお話のなかに出てきて大学にも高校の勉強が繋がっていると実感して嬉しかった。

